



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場会社名 GMOインターネット株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9449 URL http://gmo.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)熊谷 正寿
 グループ代表
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)安田 昌史 (TEL)03(5456)2555
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 平成25年12月24日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	69,993	29.5	8,613	30.8	8,549	30.2	3,756	38.6
24年12月期第3四半期	54,057	19.7	6,584	17.1	6,564	25.2	2,710	2.5

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 6,158百万円(68.8%) 24年12月期第3四半期 3,648百万円(△2.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	31 89	31 50
24年12月期第3四半期	23 00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	409,971	34,860	5.9
24年12月期	275,960	30,418	7.6

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 24,262百万円 24年12月期 21,071百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	3 00	3 00	3 00	4 00	13 00
25年12月期	3 00	3 00	4 00		
25年12月期(予想)				5 00	15 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,000	23.7	11,000	20.2	11,000	19.9	5,000	10.7	42 44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 一、除外 1社(社名)GMOメディアホールディングス株式会社

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)10ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法を変更しており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、四半期決算短信(添付資料)10ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年12月期3Q	117,806,777 株	24年12月期	117,806,777 株
25年12月期3Q	1,811 株	24年12月期	1,684 株
25年12月期3Q	117,805,056 株	24年12月期3Q	117,805,093 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料9ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 当社は、平成25年10月30日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容(音声)については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	8
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	9
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	10
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	10
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	10
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	10
3. 四半期連結財務諸表	11
(1) 四半期連結貸借対照表	11
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	13
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	15
(4) 継続企業の前提に関する注記	16
(5) セグメント情報等	16
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

<事業全般の概況>

当社グループは「すべての人にインターネット」というコーポレートキャッチのもと、成長性の高いインターネット市場に経営資源を集中しております。当該市場は、スマートフォンやタブレット型多機能端末の普及といったデバイスの多様化、TwitterやFacebook、LINEなどソーシャルメディアの利用、またクラウド技術などテクノロジーの進化により、モバイルインターネットを中心に拡大を続けております。当該市場の拡大に伴い、当社グループの収益機会も拡大しております。

このような良好な事業環境の中、当第3四半期連結累計期間における当社グループは、①WEBインフラ・EC事業、②インターネットメディア事業および③インターネット証券事業の継続的な成長を目指し、顧客基盤の拡大に積極的に取り組むとともに、高い成長が続いているスマートフォン向けのゲーム事業を4本目の事業の柱とすべく、積極的な投資を行なってまいりました。

以上、当第3四半期連結累計期間における売上高は69,993百万円（前年同期比29.5%増）、営業利益は8,613百万円（同30.8%増）、経常利益は8,549百万円（同30.2%増）、四半期純利益は3,756百万円（同38.6%増）となり、いずれも第3四半期連結累計期間としては過去最高の業績となりました。

<当第3四半期累計（平成25年1月～9月）連結業績の概要>

（単位：百万円）

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
売上高	54,057	69,993	15,936	29.5%
営業利益	6,584	8,613	2,029	30.8%
経常利益	6,564	8,549	1,984	30.2%
四半期純利益	2,710	3,756	1,046	38.6%

<当第3四半期累計（平成25年1月～9月）セグメント毎の売上高・営業利益の状況>

（単位：百万円）

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
WEBインフラ・EC事業				
売上高	22,111	28,226	6,115	27.7%
営業利益	3,228	3,929	701	21.7%
インターネットメディア事業				
売上高	19,587	22,433	2,845	14.5%
営業利益	1,561	1,709	147	9.4%
インターネット証券事業				
売上高	11,688	16,377	4,689	40.1%
営業利益	3,266	3,594	327	10.0%
ソーシャル・スマートフォン関連事業				
売上高	2,041	4,371	2,330	114.2%
営業利益	△1,534	△874	660	-
インキュベーション事業				
売上高	78	145	66	85.4%
営業利益	△81	20	101	-
調整額				
売上高	△1,449	△1,560	△111	-
営業利益	143	234	91	-
合計				
売上高	54,057	69,993	15,936	29.5%
営業利益	6,584	8,613	2,029	30.8%

各セグメントの事業の内容は、以下のとおりとなっております。

事業区分	主要業務
WEBインフラ・EC事業	ドメイン取得事業 ・『お名前.com』、『ムームードメイン』、『VALUE-DOMAIN.COM』などで展開する「.com」「.net」「.jp」などのドメイン取得事業
	レンタルサーバー事業 ・『お名前.comレンタルサーバー』、『GMOアプリクラウド』、『ConoHa by GMO』、『GMOクラウド VPS』、『GMOクラウド Public』、『GMOクラウド Private』、『ロリポップ!』、『heteml』、『Sqale』などで展開する専用サーバー、共用サーバー、VPS、クラウドの提供・運用・管理・保守を行うホスティングサービス
	EC支援事業 ・『カラーミーショップ』、『MakeShop』、『Jugem Cart』で展開するネットショップ構築のASPサービス ・『カラメル』などショッピングモールの運営 ・Web制作・運営支援・システムコンサルティングサービス
	セキュリティ事業 ・『クイック認証SSL』、『企業認証SSL』などのSSLサーバー証明書、『コードサイン証明書』、『PDF文書署名用証明書』、『クライアント証明書』などの電子証明書発行サービス
	決済事業 ・通販・EC事業者向け『PGマルチペイメントサービス』、自治体向け『公金クレジットカード決済サービス』、スマートフォン向け『ソーシャルアプリ決済サービス』といった決済処理サービス
	アクセス事業 ・『GMOとくとくBB』、『interQ MEMBERS』、『ZERO』などのインターネット接続サービス
インターネットメディア事業	インターネットメディア・検索関連事業 ・ブログ（『ヤプログ!』、『JUGEM』等）、インターネットコミュニティ（『freeml』、『ブクログ』等）、電子書籍作成・販売支援『パプー』、ファッション共有SNS『コーデスナップ』などのインターネットメディアの開発、運営 ・SEMメディア事業 日本語キーワード『JWord』の運営・販売、SEOの販売 ・アドネットワーク事業 自社メディアへのコンテンツ連動広告、検索連動型広告の配信
	広告代理事業 ・インターネット広告・モバイル広告、検索連動型広告、成果報酬型広告等の販売 ・企画広告制作サービス
	その他 ・インターネットリサーチシステムの提供・リサーチモニターの管理・運営『GMOリサーチ・クラウド・パネル』など
インターネット証券事業	インターネット証券事業 ・オンライン証券取引、外国為替証拠金取引サービス等の運営
ソーシャル・スマートフォン関連事業	スマートフォンゲーム事業 ・ソーシャルアプリ開発・運営の支援 ・スマートフォン向けのゲームアプリプラットフォーム『Gゲー』の展開
	くまポン事業 ・共同購入型クーポンサイト『くまポンbyGMO』の運営
インキュベーション事業	ベンチャーキャピタル事業 ・インターネット関連企業を中心とした未上場会社への投資事業

① WEBインフラ・EC事業

当該セグメントにおいては、インターネットビジネスを手掛けるお客様のビジネス基盤となるサービスを提供しております。インターネットにおける住所となる「ドメイン」、データを保管するための「サーバー」、ネットショップ導入のためのシステムを提供する「EC支援」、ECをはじめとした「決済」、これら取引の安全を図る「セキュリティ」などの事業です。これら5大商材全てを当社グループにおいて開発・提供しており、いずれも国内トップシェアを有しております。当該セグメントの各事業別の業績は下記のとおりです。

1) ドメイン取得事業

当該事業では、顧客基盤の拡大を継続しております。当第3四半期連結累計期間のドメイン登録・更新数は281万件（前年同期比10.6%増）、当第3四半期連結会計期間末の管理累計ドメイン数は407万件（前年同期比17.7%増）と伸長を続けております。これらの結果、売上高は3,429百万円（前年同期比7.8%増）となっております。

2) レンタルサーバー事業

当該事業では、お客様の利用ニーズの高度化・多様化に対応するため、専用サーバー、共用サーバー、VPS、クラウドの各サービスにおいて、多ブランド展開を行なっております。中でも、ソーシャルゲームの開発・運営に特化したクラウドサービス『GMOアプリクラウド』はスマートフォンの普及によるモバイルゲーム市場の拡大もあり、当該事業の成長を牽引しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の契約件数は71.0万件（前年同期比6.7%増）、売上高は10,234百万円（前年同期比10.5%増）となっております。

3) EC支援事業

当該事業では、ネットショップ事業者向けにASPカートサービスなどを提供しております。EC市場の拡大とともに顧客基盤を拡大させており、当第3四半期連結会計期間末の有料店舗数は6.8万（前年同期比10.5%増）、当第3四半期連結累計期間の流通総額は1,387億円（前年同期比12.0%増）となりました。なお、当第3四半期よりYahoo!ショッピング出店者に対するコンサルティング等を提供するGMOコマース株式会社を連結対象としております。これらの結果、売上高は2,563百万円（前年同期比32.3%増）となっております。

4) セキュリティ事業

当該事業では、代理店を通じた拡販によりSSLサーバー証明書市場におけるシェアを国内外で拡大させております。国内においては2012年5月以降シェア1位を継続し、海外においては当第3四半期連結累計期間の発行枚数が10.9万枚（前年同期比57.0%増）と順調に拡大しております。これらの結果、売上高は1,949百万円（前年同期比32.4%増）となっております。

5) 決済事業

当該事業では、GMOペイメントゲートウェイを中核として、決済サービスを提供しております。当第3四半期連結累計期間においては、引き続き顧客基盤（加盟店数）および流通額（決済処理件数、決済処理金額）の増大のため、集客支援サービスによる加盟店の売上向上などに取り組んでまいりました。これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の加盟店数は4.4万件（前年同期比13.8%増）となり、売上高は4,329百万円（前年同期比22.2%増）となっております。

以上、各事業においてシェアが拡大した結果、これらを含めたWEBインフラ・EC事業セグメントの売上高は28,226百万円（前年同期比27.7%増）、営業利益は3,929百万円（同21.7%増）と大きく伸長いたしました。

② インターネットメディア事業

当該セグメントにおいては、インターネットビジネスを手掛けるお客様の集客支援サービスを提供しております。Yahoo!、Googleといった検索エンジンを通じた集客の効率化を図る「検索関連」、ネット広告を提供する「広告代理」、また自社メディアの運営などを展開しております。当該セグメントの各事業別の業績は下記のとおりです。

1) インターネットメディア・検索関連事業

当該事業では、SEOといった従来の事業領域に加え、本年度よりスマートフォン向けのメディア開発、リワード広告を本格化させております。これらの結果、売上高は7,570百万円（前年同期比3.0%増）となっております。

2) 広告代理事業

当該事業では、GMOアドパートナーズを中核として、メディアレップとエージェンシー機能を有する総合的なネット広告サービスを提供しております。ネット広告業界では、ディスプレイ広告において純広告からアドネットワーク広告へ、またデバイスではフィーチャーフォンからスマートフォンへ、というシフトが続いております。こうした中、当第3四半期累計期間においては、フィーチャーフォンの落ち込みはあったものの、PC・スマートフォンともにリスティング広告、運用型ディスプレイ広告が引き続き好調に推移いたしました。また、利益率向上のため、自社商材の開発に注力してまいりました。これらの結果、売上高は13,483百万円（前年同期比20.6%増）と大きく伸ばいたしました。

以上、これらを含めたインターネットメディア事業セグメントの売上高は22,433百万円（前年同期比14.5%増）、営業利益は1,709百万円（同9.4%増）となりました。

③ インターネット証券事業

当該セグメントにおいては、顧客基盤（取引口座数・預り資産）および取引高の拡大に努めております。この点、当第3四半期連結会計期間末における当社グループの取引口座数はオンライン証券取引が18.9万口座（前年同期比28.0%増）、外国為替証拠金取引が45.4万口座（前年同期比19.6%増）と堅調に拡大しております。また、外国為替証拠金取引における取引高については金融緩和期待もあり、GMOクリック証券の月次取引高が6・7月と連続して100兆円を超えるなど、高水準で推移しております。

この取引高の急増は、その8割近くがナロースプレッド（利益率の低い）通貨であるドル円取引であり収益貢献が限定的であったこと、さらに急激な円安進行に伴いカバー取引コストが増大したことにより、当社を含めFX事業者各社の収益性が一時的に低下いたしました。しかし、その後のスプレッド拡大などの施策により、8月以降収益構造は回復しております。

以上、インターネット証券事業セグメントの売上高は16,377百万円（前年同期比40.1%増）、営業利益は3,594百万円（同10.0%増）となりました。

④ ソーシャル・スマートフォン関連事業

当該セグメントにおいては、急成長するスマートフォン市場をターゲットに、個人顧客向けのビジネスなどの分野に取り組んでおります。当該セグメントの主な事業別の状況は下記のとおりです。

1) スマートフォンゲーム事業

当該事業では、スマートフォン向けのゲームを展開しており、アプリの開発・運用及びスマートフォン向けのゲームアプリプラットフォーム『Gゲー』の運営を行っております。モバイルゲーム市場

は、スマートフォンやタブレット型多機能端末の普及によりGoogle Play・App Storeを始めとしたアプリ市場を中心に急速に成長しております。

当第3四半期連結累計期間においては、「幻想のミネルバナイツ」をはじめとした複数の既存タイトルが引き続きGoogle Play売上ランキングに定着しております。これらの結果、売上高は3,243百万円（前年同期比303.4%増）、営業損失は864百万円（前年同期は1,423百万円の営業損失）となっております。

2) くまポン事業

当該事業では、共同購入型クーポンサイト『くまポンbyGMO』の運営を行なっております。採算性を重視した事業展開を行なっていることにより新規顧客の獲得が課題となっております。これらの結果、売上高は1,128百万円（前年同期比8.8%減）、営業損失は10百万円（前年同期は110百万円の営業損失）となっております。

これら、ソーシャル・スマートフォン関連事業セグメントの売上高は4,371百万円（前年同期比114.2%増）と拡大したものの、積極的な事業投資を継続したことにより営業損失は874百万円にとどまっております（前年同期は1,534百万円の営業損失）。早期の黒字化を目指し、特にスマートフォンゲーム事業に注力してまいります。

⑤ インキュベーション事業

当該セグメントにおいては、キャピタルゲインを目的としたインターネット関連企業への投資、事業拡大への支援、企業価値向上支援を行なっております。第3四半期連結累計期間では、保有株式の売却等により、売上高は145百万円（前年同期比85.4%増）、営業利益は20百万円（前年同期は81百万円の営業損失）となりました。

(参考1)

四半期ごとの経営成績および財政状態の推移

(単位：百万円)

	2012 3Q	2012 4Q	2013 1Q	2013 2Q	2013 3Q
売上高	18,091	20,319	22,810	23,873	23,310
営業利益	1,572	2,564	2,894	2,971	2,748
経常利益	1,582	2,611	2,859	3,022	2,667
当期純利益	817	1,808	1,102	1,293	1,360
総資産	256,677	275,960	364,089	363,002	409,971
自己資本	19,690	21,071	21,451	22,802	24,262

(参考2)

セグメント・事業別四半期業績推移

(単位：百万円)

I セグメント別売上高

	2012 3Q	2012 4Q	2013 1Q	2013 2Q	2013 3Q
WEBインフラ・EC事業					
アクセス事業	502	656	827	1,112	1,256
ドメイン取得事業	1,043	942	1,138	1,184	1,106
レンタルサーバー事業	3,186	3,327	3,342	3,465	3,427
EC支援事業	676	761	845	749	967
セキュリティ事業	511	504	616	658	674
決済事業	1,271	1,281	1,382	1,426	1,519
その他	590	629	898	838	787
合計	7,783	8,102	9,051	9,436	9,738
インターネットメディア事業					
インターネットメディア・検索 関連事業	2,459	2,347	2,514	2,532	2,523
広告代理事業	3,854	3,673	4,491	4,610	4,382
その他	347	469	482	462	434
合計	6,662	6,490	7,488	7,604	7,339
インターネット証券事業					
合計	3,436	4,837	5,528	5,685	5,162
ソーシャル・スマートフォン関連事業					
スマートフォンゲーム事業	267	435	863	1,231	1,147
くまポン事業	421	383	397	392	338
合計	689	818	1,261	1,624	1,486
インキュベーション事業					
合計	36	525	41	42	61
小計	18,608	20,775	23,371	24,393	23,789
調整額	△516	△456	△560	△520	△479
売上高	18,091	20,319	22,810	23,873	23,310

II セグメント別営業利益

	2012 3Q	2012 4Q	2013 1Q	2013 2Q	2013 3Q
WEBインフラ・EC事業	1,103	1,026	1,318	1,327	1,284
インターネットメディア事業	455	464	659	593	455
インターネット証券事業	584	1,174	1,253	1,170	1,169
ソーシャル・スマートフォン関連事業					
スマートフォンゲーム事業	△574	△600	△402	△170	△291
くまポン事業	△4	5	0	△1	△8
合計	△578	△595	△402	△171	△300
インキュベーション事業	△27	448	6	3	11
小計	1,538	2,518	2,835	2,923	2,620
調整額	33	45	58	47	128
営業利益	1,572	2,564	2,894	2,971	2,748

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

<資産、負債及び純資産の状況>

(資産)

当第3四半期連結会計期間末（平成25年9月30日）における資産合計は、前連結会計年度末（平成24年12月31日）に比べ134,010百万円増加し、409,971百万円（48.6%増）となっております。主たる変動要因は、現預金が13,883百万円増加（30.4%増）したこと、顧客資産の増加により証券業における諸資産（証券業における預託金・証券業における信用取引資産・証券業における短期差入保証金・証券業における支払差金勘定）が119,378百万円増加（62.2%増）したこととあります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ129,568百万円増加し、375,110百万円（52.8%増）となっております。主たる変動要因は、証券業における9月末の取引拡大に備え、手元流動性を高めるため、有利子負債を17,632百万円増加（83.2%増）させたこと、顧客資産の増加により証券業における諸負債（証券業における預り金・証券業における信用取引負債・証券業における受入保証金・証券業における受取差金勘定）が107,020百万円増加（57.1%増）したこととあります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4,442百万円増加し、34,860百万円（14.6%増）となっております。主たる変動要因は利益剰余金が2,134百万円増加したこと（17.1%増）、連結子会社の利益拡大にともない少数株主持分が1,251百万円増加（13.4%増）したこと、投資有価証券の含み益などによりその他の包括利益累計額が1,056百万円増加したこととあります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第3四半期連結会計期間末（平成25年9月30日）における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末（平成24年12月31日）に比べ13,048百万円増加し、54,947百万円（31.1%増）となっております。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動においては989百万円の資金流入（前年同期は437百万円の資金流入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上により7,729百万円、減価償却費の計上により3,242百万円の資金流入があった一方、顧客資産の増加を受け、証券業における諸資産の増加（証券業における預託金の増加、証券業における差入保証金の増加、証券業における支払差金勘定及び受取差金勘定の減少による資金流出、一方、証券業における預り金及び受入保証金の増加による資金流入）により6,249百万円、法人税等の支払により2,822百万円の資金流出があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動においては3,130百万円の資金流出（前年同期は1,419百万円の資金流出）となりました。これは主に、サーバー設備などの有形固定資産の取得により965百万円、ソフトウェアのライセンス更新など無形固定資産の取得により862百万円、投資有価証券の取得・売却により458百万円の資金流出があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動においては14,762百万円の資金流入（前年同期は7,847百万円の資金流入）となりました。こ

れは主に、証券業における9月末の取引拡大に備え、手元流動性を高めるため、有利子負債の純増（短期借入金の増加、長期借入金の返済）により17,614百万円の資金流入があった一方、配当金の支払により1,178百万円の資金流出額があったことによるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、前回予想（平成25年2月6日公表の「平成24年12月期 決算短信」）の見直しを行っております。詳細につきましては、本日公表の「平成25年12月期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間において、連結子会社であるGMOメディアホールディングス株式会社は当社との吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。なお、この変更による影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,718	59,602
受取手形及び売掛金	6,435	7,602
営業投資有価証券	661	776
証券業における預託金	122,914	191,340
証券業における信用取引資産	41,060	82,348
証券業における短期差入保証金	17,824	22,954
証券業における支払差金勘定	10,188	14,723
繰延税金資産	1,816	2,402
その他	8,259	7,296
貸倒引当金	△429	△593
流動資産合計	254,450	388,453
固定資産		
有形固定資産	7,246	7,562
無形固定資産		
のれん	3,551	3,187
ソフトウェア	3,761	3,913
その他	507	586
無形固定資産合計	7,821	7,687
投資その他の資産		
投資有価証券	1,533	2,884
繰延税金資産	3,163	1,675
その他	2,100	2,065
貸倒引当金	△355	△357
投資その他の資産合計	6,441	6,267
固定資産合計	21,510	21,517
資産合計	275,960	409,971
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,283	2,593
短期借入金	8,792	27,150
未払金	6,141	9,275
証券業における預り金	11,245	24,072
証券業における信用取引負債	35,702	70,880
証券業における受入保証金	136,616	196,836
証券業における受取差金勘定	4,018	2,813
未払法人税等	1,470	922
賞与引当金	336	404
役員賞与引当金	219	69
前受金	3,479	3,780
預り金	13,118	14,754
その他	4,506	4,410
流動負債合計	227,932	357,965

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
固定負債		
長期借入金	12,401	11,676
繰延税金負債	25	31
その他	4,354	4,128
固定負債合計	16,781	15,836
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	828	1,309
特別法上の準備金合計	828	1,309
負債合計	245,542	375,110
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	100
資本剰余金	5,836	8,736
利益剰余金	12,509	14,643
自己株式	△0	△0
株主資本合計	21,344	23,479
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△199	683
繰延ヘッジ損益	△52	△42
為替換算調整勘定	△21	141
その他の包括利益累計額合計	△273	782
新株予約権	22	22
少数株主持分	9,323	10,575
純資産合計	30,418	34,860
負債純資産合計	275,960	409,971

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	54,057	69,993
売上原価	22,678	30,171
売上総利益	31,379	39,822
販売費及び一般管理費	24,794	31,208
営業利益	6,584	8,613
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	30	24
為替差益	—	52
持分法による投資利益	22	66
匿名組合投資利益	183	—
その他	137	195
営業外収益合計	379	344
営業外費用		
支払利息	244	249
その他	154	159
営業外費用合計	399	409
経常利益	6,564	8,549
特別利益		
投資有価証券売却益	160	16
関係会社株式売却益	150	—
負ののれん発生益	532	—
持分変動利益	6	7
その他	8	1
特別利益合計	858	25
特別損失		
固定資産除却損	126	33
減損損失	64	250
事務所移転費用	76	51
金融商品取引責任準備金繰入額	144	480
その他	36	29
特別損失合計	447	845
税金等調整前四半期純利益	6,975	7,729
法人税、住民税及び事業税	2,435	2,157
法人税等調整額	733	618
法人税等合計	3,168	2,775
少数株主損益調整前四半期純利益	3,806	4,953
少数株主利益	1,096	1,196
四半期純利益	2,710	3,756

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,806	4,953
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△86	921
繰延ヘッジ損益	△70	9
為替換算調整勘定	△1	274
その他の包括利益合計	△158	1,205
四半期包括利益	3,648	6,158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,517	4,813
少数株主に係る四半期包括利益	1,131	1,345

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,975	7,729
減価償却費	2,112	3,242
減損損失	64	250
のれん償却額	968	1,035
投資有価証券売却損益(△は益)	△160	△16
関係会社株式売却損益(△は益)	△150	—
受取利息及び受取配当金	△36	△29
支払利息	244	249
売上債権の増減額(△は増加)	△354	△720
仕入債務の増減額(△は減少)	250	381
証券業における預託金の増減額(△は増加)	△32,861	△68,425
証券業における差入保証金の増減額(△は増加)	4,519	△5,130
証券業における支払差金勘定及び受取差金勘定の増減額	△3,869	△5,740
証券業における預り金及び受入保証金の増減額(△は減少)	29,710	73,047
預り金の増減額(△は減少)	△2,180	1,621
その他	△2,819	△3,473
小計	2,412	4,021
利息及び配当金の受取額	20	41
利息の支払額	△239	△250
法人税等の支払額	△1,755	△2,822
営業活動によるキャッシュ・フロー	437	989
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△994	△965
無形固定資産の取得による支出	△1,024	△862
投資有価証券の取得による支出	△105	△509
投資有価証券の売却による収入	185	51
関係会社株式の取得による支出	△248	△261
関係会社株式の売却による収入	157	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△150	△11
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	1,312	—
その他	△551	△572
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,419	△3,130
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	46,900	97,300
短期借入金の返済による支出	△37,525	△77,100
長期借入れによる収入	2,800	2,000
長期借入金の返済による支出	△1,944	△4,585
配当金の支払額	△1,295	△1,178
少数株主への配当金の支払額	△318	△593
その他	△768	△1,080
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,847	14,762
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	240
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,877	12,862
現金及び現金同等物の期首残高	32,743	41,899
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	36	185
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,656	54,947

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	WEBイン フラ・EC 事業	インター ネットメ ディア事 業	インター ネット証 券事業	ソーシャ ル・スマ ートフォ ン関連事 業	インキュ ベーション 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	21,734	18,519	11,688	2,036	78	54,057	—	54,057
セグメント間の内部 売上高又は振替高	376	1,068	—	4	—	1,449	△1,449	—
計	22,111	19,587	11,688	2,041	78	55,506	△1,449	54,057
セグメント利益又は 損失(△)	3,228	1,561	3,266	△1,534	△81	6,441	143	6,584

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額143百万円は、セグメント間内部取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「インターネット証券事業」セグメントにおいて、連結子会社であるGMOクリックホールディングス株式会社がFXプライム株式会社(現：株式会社FXプライムbyGMO)の株式を取得したことに伴う負ののれんの発生益が532百万円発生しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	WEBイン フラ・EC 事業	インター ネットメ ディア事 業	インター ネット証 券事業	ソーシャ ル・スマ ートフォ ン関連事 業	インキュ ベーション 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	27,759	21,344	16,377	4,366	145	69,993	—	69,993
セグメント間の内部 売上高又は振替高	467	1,088	—	5	—	1,560	△1,560	—
計	28,226	22,433	16,377	4,371	145	71,554	△1,560	69,993
セグメント利益又は 損失(△)	3,929	1,709	3,594	△874	20	8,379	234	8,613

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額234百万円は、セグメント間内部取引消去であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ソーシャル・スマートフォン関連事業」、「インターネット証券事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は当第3四半期連結累計期間において、「ソーシャル・スマートフォン関連事業」194百万円、「インターネット証券事業」44百万円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成25年2月18日開催の取締役会において、平成25年3月24日開催の第22回定時株主総会に、資本金の額の減少について付議することを決議し、同定時株主総会にて承認可決され、平成25年4月30日付でその効力が発生しております。これにより資本金が2,900百万円減少し、その他資本剰余金が同額増加しております。